

## 小学校六年

## チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第六学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、話すこと・聞くことにチャレンジしましょう。今から一回だけ、音声による問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

村上さんの住む町の広報誌に、「わたしたちの学校の宝物」というコーナーがあります。今回、村上さんたちの学校が取材されることになり、六年生が代表でインタビューを受けます。村上さんの学級では、校庭にあるくすのきを、「わたしたちの学校の宝物」として選ぶことにしました。今から、取材に向けた話し合いが始まります。あなたも学級の一員になったつもりで聞きましょう。

司会

それでは、校庭のくすのきについて調べてくれた人に、発表してもらいましょう。まずは、吉本さんからお願いします。

吉本

はい。ぼくは、くすのきの歴史を、祖父に聞いてきました。この木の歴史は、学校よりも古く、祖父が子どものころも今と同じぐらい大きかったそうです。

司会

吉本さんと同じように、くすのきの歴史について調べてきた人はいませんか。

川口

はい。町の図書館の資料に、このくすのきのことがのっていました。くすのきは、二百年ぐらい前の江戸時代に植えられたものだということです。この地域にお寺を開いたお坊さんが亡くなったときに、優しくったお坊さんを忘れないように、植えたのだそうです。

司会

なるほど、そんな歴史もあつたんですね。ほかのことについて調べた人はいませんか。

大山

はい。ぼくは低学年のころ、よくこのくすのきに登って遊んでいました。そこで、クラスみんなに木登りの経験について、アンケートをとってみました。その結果、約九十五パーセントの人が、このくすのきに登ったことがあると答えました。みんなにこれほど親しまれている木は、ほかにはないと思います。

司会

そうですね。村上さんは、どんなことを調べてきましたか。

村上

わたしの家族は、全員がこの学校の卒業生です。母は、夏の暑いとき、木かげに入ってよく遊んでいたと言っていました。父は、夏休みに校庭で遊んでいて、夕立のとき、この木の下で雨やどりをしたことを、なつかしそうに話してくれました。

司会

ありがとうございます。それでは、わたしたちの学校の宝物として、くすのきのことをしっかりと伝えるためには、どんなことを中心に伝えたらよいと思いますか。

吉本

はい。ほとんどの木はいつ植えられたか分かりませんが、この木については、資料が残っています。もっと調べたら、いろいろなことが分かるかもしれません。やはり歴史のある木ということを中心に伝えた方が、「わたしたちの学校の宝物」というテーマにふさわしいと思います。

大山

ぼくは、自分たちで答えるのだから、自分たちに関係があることを中心に、伝えた方がよいと思います。みんなに木登りの経験だけでなく、ほかの思い出も聞いてみたら、きっとおもしろい話が出てくると思います。みんなに親しまれている木ということを中心に、伝えたらよいのではないですか。

司会

なるほど、歴史ある木ということと、みんなに親しまれている木ということにまとめられそうですね。みなさんは、どちらを中心に伝えた方がよいと思いますか。

まだ話し合いは続きますが、放送はこれで終わりです。それでは、問題用紙を開いて始めてください。